

環境省 環境技術実証事業 実証試験結果報告書 チェックリスト (報告書作成要領 Ver1.1 対応)

検証者：(組織名) 部 (氏名)
 検証対象： 技術分野 平成 年度実証 技術
 実証番号：

日時	検証履歴

注) 必須事項は太字で記載し、推奨事項には(推奨事項)と記載して識別した。

No.	有効性	妥当性	確認項目	チェック基準	主旨(チェックリスト制定時はこの欄を削除)	確認結果	確認結果の根拠 [OKとした場合はその理由 要修正とした場合は具体的な指摘内容]	確認結果を受けての 対応	備考 [制度、作成要領、チェック リストの改善に係るコメント等]
0			客観性、 第三者性 の確保	報告書は、実証申請者にとって過度に有利・不利なものでなく、「第三者実証」の趣旨を十分に体现したものであり、試験結果等から客観的に導かれる事項に限り記載され、客観性や裏付けのない事項の記載や、誇張を追認するようなことがないように留意されているか。	-	OK 要修正			
			報告書頁数	(推奨事項) 報告書頁数は、本文を概ね 50 頁以内程度で作成されているか。	-	OK 要修正			
1			表紙及び裏表紙	表紙に 実証番号及び ETV 共通ロゴマーク を明記する準備をしているか。 必要事項が記載され、実証番号のテキストデータの表示場所 が準備されているか。	報告書の表紙等には実証番号が表示されていない等、SEO(Search Engine Optimization、検索エンジン最適化)対策が不足しているものがある。	OK 要修正			

No.	有効性	妥当性	確認項目	チェック基準	主旨(チェックリスト制定時はこの欄を削除)	確認結果	確認結果の根拠 [OKとした場合はその理由 要修正とした場合は具体的な指摘内容]	確認結果を受けての 対応	備考 [制度、作成要領、チェックリストの改善に係るコメント等]
2			ロゴマーク	全ページのヘッダにETV共通ロゴマークを明記する準備をしているか。	環境省事業の報告書であることのアピールが不足している(ロゴマークを全ページに配置する等)。	OK 要修正			
3			目次	(推奨事項) 目次は、読み手が記載場所を認識できるよう、分野ごとの特性・事情を踏まえつつ、大項目に関して作成要領に記載の構成に沿っているか。		OK 要修正			
4			実証全体概要	実証全体概要は、目次構成と整合しており、読み手が実証対象技術の概要を視覚的に理解するために、システム図、フロー図、写真等を掲載するなど配慮されているか。また、システム図及びフロー図の掲載が困難な商品等は、寸法等のわかる工夫をした写真を掲載しているか。	実証対象技術の概要を視覚的に理解しにくい(ポンチ絵や製品写真がない等)。	OK 要修正			
				(推奨事項) (参考情報)は、実証済技術を導入しようとするユーザーが実証済技術の概要を理解しやすくするために、様式例に沿って記載されているか。	実証申請者の責任で記述している参考情報に関して統一感がない(環境省または実証機関として求めるルールがない)。	OK 要修正			
				(推奨事項) 当該技術を設置・導入する時に必要な設置条件やコストについての情報は、ユーザーの参考に資するように、(参考情報)様式例に沿い明確に記載されているか。	設置条件やコスト情報が実証申請者の責任で記述される項目となっているため、実証済技術間の相互比較ができない。	OK 要修正			
5			実証対象技術の概要	(推奨事項) 原理、機器構成、仕様、メリット(特徴)等を簡潔に記載する中で、特に実証対象技術のメリットに関して、わかりやすく記載されているか。また、誇大な表現にならないよう留意されているか。	実証対象技術のメリットに関する定性的記述が不足している(できるだけ冒頭)。	OK 要修正			

No.	有効性	妥当性	確認項目	チェック基準	主旨(チェックリスト制定時はこの欄を削除)	確認結果	確認結果の根拠 [OKとした場合はその理由 要修正とした場合は具体的な指摘内容]	確認結果を受けての 対応	備考 [制度、作成要領、チェックリストの改善に係るコメント等]
6			実証試験の内容	実証試験に係る実証試験参加者と責任分掌、試験方法・条件、システム全体構成、試験実施場所、スケジュール、監視項目等について記載されているか。		OK 要修正			
				実証試験に参加する組織、実施体制について、作成要領に基づく様式で記載されているか。		OK 要修正			
				実証機関において実証試験結果報告書の発行権限を持つ責任者と実証申請者、その責任分掌が記載されているか。		OK 要修正			
				実証試験時の試験方法・条件、システム全体構成、試験実施場所、監視項目等をわかりやすく記載しているか。		OK 要修正			
				試験に要した工程をバーチャート、表形式等により分かりやすく記載しているか。		OK 要修正			
7			実証試験の結果と考察	実証試験の結果が、表やグラフを用いて明記されているか。計測器等で計測されたデータについては加工(計算)前の値も記載しているか。(範囲表示、最高・平均・最低値等の表現も可能) また、試験に影響する因子についても可能な限り載せているか。		OK 要修正			

No.	有効性	妥当性	確認項目	チェック基準	主旨(チェックリスト制定時はこの欄を削除)	確認結果	確認結果の根拠 [OKとした場合はその理由 要修正とした場合は具体的な指摘内容]	確認結果を受けての 対応	備考 [制度、作成要領、チェック リストの改善に係るコメント等]
				(推奨事項) 実証試験結果の読み方に関し、試験結果の判断基準がわかりやすく記載されているか。	実証試験結果の読み方に関する情報が少なく、場合によっては導入メリットがないと誤解されかねないものもある(例:有機性排水:指標項目の変化が何を示しているのかに関する説明が不足している、閉鎖性海域:各実証項目を計測することで何がわかったのかに関する説明が不足している、地中熱ヒート:フィールド試験結果であることを理解せずに読むと、空気熱源ヒートポンプに比べてCOPが小さく、コストが高く見える)。	OK 要修正			
				(推奨事項) 実証試験結果の記載にとどまらず、その結果を踏まえた考察を記載しているか。 a) 実証事業としての意義 b) 期待される導入効果(実証試験結果から導き出される導入効果、実証試験結果以外に期待される導入効果) c) 技術としての新規性 d) 従来技術に対する優位性(経済性等) e) 技術開発の可能性(技術実証検討会等における技術的アドバイス、「この点を改善すればより大きな効果が出る可能性がある」等) f) 普及拡大に向けた課題 等	従来技術や類似技術との差別化に資する情報が少ない(例:地中熱ヒート:読者自らが横並びで見ないと技術の特徴が理解できない、VOC等:従来技術等に関する具体的・定量的な情報が少ない)。	OK 要修正			
8			専門用語の解説、脚注等	報告書に用いられている専門用語について用語集や脚注において解説を付しているか。	専門用語の解説が不足している(例:地球温暖化:全光線反射率、閉鎖性海域:メガロベントス、湖沼:浚渫、地中熱ヒート:システムエネルギー効率、VOC等:NDIR等)。	OK 要修正			